

「台東区一般廃棄物処理基本計画」を策定しています。

～「中間のまとめ」について、皆さまのご意見を募集しています～

区では、平成23年3月に「台東区一般廃棄物処理基本計画」を策定し、「みんなでつくる循環型社会の実現 ～たいとうごみゼロ協働プラン～」を基本理念と掲げて台東区らしい循環型社会の実現を目指し、ごみの戸別収集の区内全域への拡大や集団回収支援の拡充、燃やさないごみの選別・資源化など様々な取り組みを行ってきました。

令和2年度をもって現在の計画の計画期間が終了することとともない、取り組みの進捗状況や、国内外の動向などを踏まえつつ、令和3年度から令和12年度までの10年間の清掃・リサイクル事業の方向性を示す新しい「台東区一般廃棄物処理基本計画」を策定します。

また、同時に「食べものを大切に」意識の下、食品ロス削減に取り組むため、「台東区食品ロス削減推進計画」を新たに策定します。この度、中間のまとめを作成しましたので、皆さまからのご意見をお聞かせください。

【台東区一般廃棄物処理基本計画】

基本理念

みんなでつくる循環型社会の実現 ～持続可能なたいとうごみゼロ協働プラン～

「みんなでつくる循環型社会の実現」の更なる定着のため、基本理念は継承し、スローガンを「～持続可能なたいとうごみゼロ協働プラン～」とし、区民・事業者・区、そして来街者との協働により、さらなるごみの減量と安全で安定的な清掃事業を実施し、台東区らしい持続可能な循環型社会の実現を目指します。

基本方針

基本方針1 区民・事業者・区の協働による3R+Sを推進します

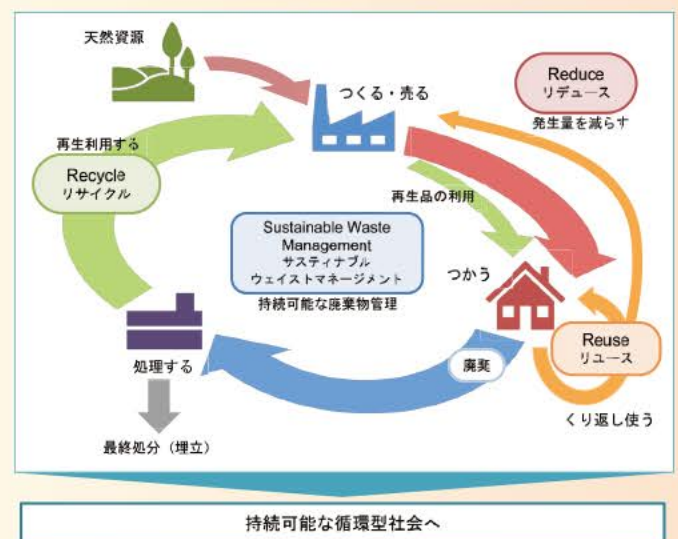
○循環型社会を形成していくため、前計画から引き続き「3R」に取り組みます。
「3R」とは、【廃棄物等の発生量を減らす】(リデュース (Reduce))・【補修・修理しながら繰り返し使用する】(リユース (Reuse))・【再生して利用する】(リサイクル (Recycle)) の3つの頭文字を取ったものです。さらに、【持続可能な廃棄物管理】サステナブルウェストマネジメント (Sustainable Waste Management)) を行い、次世代にも安全で快適な社会を繋いでいきます。持続可能な廃棄物管理 (S) では、廃棄物の適正処理や再生資源でできた製品の積極的活用を進めていきます。3Rにこの「S」を加えた、「3R+S」を推進します。

基本方針2 ごみ減量と資源の有効利用を推進します

○ごみ減量のためには、3Rの取り組みの中でリデュースが優先されます。「ごみゼロ」社会の実現に向けて、使い捨て容器・包装の削減や食品ロスの削減など発生抑制に取り組みます。

基本方針3 安全で安定した適正処理を推進します

○清掃・リサイクル事業を継続的かつ安定的に行い、環境負荷の少ない効率的な処理体制の確保に努めていきます。



数値目標

区民1人1日あたりのごみ・資源排出量を79g (11%) 削減します。(令和元年度比)

循環型社会では、ごみや資源の「発生抑制」が大切です。そこで、「区民1人1日あたりのごみ・資源排出量」を指標として、令和元年度と比較して1人1日あたり79g (11%) 減らすことを計画目標とします。

主な取り組み

○リサイクル協力店制度の見直し

使い捨てプラスチック容器包装等の削減やマイボトル・マイバッグ運動への協力、食品ロス削減の取り組みなど、幅広い視点からリサイクル協力店制度を見直します。

○使い捨てプラスチックの削減

マイボトル・マイバッグの利用を推奨するとともに、テイクアウト用容器などの使い捨てプラスチックを使用しないライフスタイルへの転換を促進します。

○プラスチックごみの資源化の推進

ごみの減量さらには環境負荷の低減にも寄与することから、収集・運搬体制や中間処理施設を含めた処理ルート構築を行い、プラスチック製容器包装等の分別収集を実施します。

【台東区食品ロス削減推進計画】

基本理念

みんなで食べものを大切にする世界の実現 ～おいしく食べて、たのしく解決～

区民、事業者、来街者、関係団体、区など相互にアイデアを持ち寄り、連携・協力のもと、台東区らしい食品ロス削減の取り組みを推進します。

基本方針

基本方針1 リデュース(発生抑制)の取り組み

○教育及び学習の振興、普及啓発 ○食品関連事業者等の取り組みに対する支援

基本方針2 リユース(再利用)とリサイクル(再生利用)の取り組み

○未利用食品を提供するための活動への支援等

基本方針3 サステナブル(持続可能)な取り組み

○計画の推進体制 ○情報発信・情報共有の推進 ○調査・研究の推進

数値目標

区民1人1日あたりの食品ロス排出量 約26g/人日(令和元年度の約52g/人日から半減を目指す)

食品ロス削減の取り組みを実践している人の割合 100%を目指す

主な取り組み

○(仮称)食品ロス削減クッキングの日の創設

特定の日を「(仮称)食品ロス削減クッキングの日」と定めて、冷蔵庫内で余ってしまった食品を活用して料理をするなどのキャンペーンを実施します。

○新たなツールを活用した食品ロス削減の取り組みの促進

ICT等の新技術の活用による食品ロス削減の取り組みを促進します。

○フードドライブの実施

イベント時にフードドライブを実施し、区民(来場者)への周知、啓発を図ります。